

『介護職員（対人専門職）としての記録方法について』

～誰もが見て分かる“理解できる記録”を目指して～

- 記録等（特に経過記録）に関して、医療看護の分野では既に、項目形式のSOAPが定着しています。では、福祉・介護職に関してはどうでしょうか。
- 記録の形式に関しては、叙述型式（自由記述）が主流で、職員個々のスタイルに任せてしまっているのが現状です。利用者の介護（支援）体制を構築していく上で、記録は重要なスキルとなるものであり、その情報について関わりのあるスタッフが理解共有していくことが必要となります。
- 今回は、※生活支援記録法F-SOAP（エフソアイピー）の開発者の一人である小嶋章吾（こじましようご）氏を講師にお迎えし、介護職員のスキルの向上や記録に時間を取られずに介護を提供する時間が増えるよう、基本（基礎）となる記録の方法やその役割を学びましょう。

※エフソアイピーとは ⇒ホームページ <https://seikatsu.care/>

QRコード



開催日 令和6年7月9日（火） 14：00～16：00

講師 国際医療福祉大学大学院 特任教授 小嶋章吾 氏

開催方法 Zoomによるオンラインセミナー

受講料 無料（老施協会員・準会員以外は3,000円）

対象者 介護記録に係わる介護職員・その他希望者

申込方法 栃木県老施協ホームページよりお申し込みください。
<https://www.jstochigi.jp/>

申込締切 令和6年6月30日（日）

【お願い】

申込締切後にZoomの招待URLと併せて事前にご記入いただくチェックシートとワークシートをお送りいたしますので記入の上ご参加ください。

主催・お問い合わせ先

一般社団法人
栃木県老人福祉施設協議会



TEL：028-666-1294

FAX：028-666-1295